

〔八幡愚童訓下〕勸學院雀。轉蒙求。神泉苑驚ハ勅使ニ被取。

〔齊東俗談七〕勸學院雀。諺ニ勸學院ノ雀ハ蒙求ヲ轉ト云。又雀讀論語ト云コト。笑苑千金ニ出タリ。又紫燕讀論語。百舌教之。笑海ニアリ。

〔和泉式部家集五〕おとここれはなどかすてつる、とりにたまへ、とりかへなくば、あしかりなんとて、をこせたる、

人もなくとりもなからむしまにては此かはほりもきみもたづねん

〔北條五代記八〕北條家の軍に貝太鼓を用る事

是を見てのけ貝を吹太鼓を揃ければ、入亂れたるいくさなれ共、引聲を聞て、先を見捨て皆引返す。誠に鰐の口をのがれたる心ちにて、貝太鼓の威徳をかんじたり、

〔太閤記五〕秀吉卿從美濃國柳瀬表出勢之事

評曰。筑前守殿去年三月以來、こ、かしこはかをやり給ひし事の、聊不足なる事なをき能考へみずんば、徹せし諸人皆なみくくの事に思へり、其人も亦倫々の心なるべきか、噫宜乎、非蛇不知蛇道と云置し事、

〔松屋筆記八十六〕蛙の子は蛙になる、又管子曰是故、士之子恒爲士云々、按に俗に蛙の子は蛙になるといふに、そのこ、ろ相おなじ、

〔源平盛衰記二十四〕南都合戰同燒失附胡德樂河南浦樂事

播磨國住人福井庄下司次郎大夫俊方ト云者、重衡朝臣ノ下知ニ依テ、楯ヲ破テ續松トシテ、酒野在家ヨリ火ヲ懸タリ、師走廿日アマリノ事ナレバ、折節乾ノ風烈シテ、黑煙寺内ニ吹覆、大衆猛火ニ責ラレ、炎ニ咽ケレバ、不堪シテ、蜘蛛ノ子ヲ散スガ如ク落行ケリ、

〔黒谷上人語燈錄十二〕念佛往生要義抄第四